

独立行政法人水産大学校の平成 2 1 事業年度評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、独立行政法人評価委員会による平成 2 1 年度の総合評価が「A」評価であったこと及び評価委員会における指摘がなかったこと等から、評価結果による役員の交代等を行わなかった。
----------	---

2. 役員報酬への反映について

役員報酬への反映	中期目標に定められた業務について、当該目標を達成するための中期計画に沿った年度計画が順調に実施され、平成 2 1 年度業務の実績が独立行政法人評価委員会において「A 評価」を受けたところであったことを踏まえ、役員報酬の増減は行わなかった。
----------	---

3. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	2 1 事業年度評価における主な指摘事項	平成 2 2 及び 2 3 年度の運営、予算への反映状況
国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	JABEE 教育に全校あげて取り組むなどこれまでにない積極的な姿勢を見せている点は十分に評価できる。専門大学として即戦力の学生を社会に送り出していく役割を自らに課せて、その体制を今後も強化して欲しい。	平成 2 3 年度よりスタートした新たな中期計画においても、引き続き JABEE 教育や水産現場での実学教育の推進を図るとともに、新たに社会人基礎力の強化や水産系海技士の重点化に取り組んでおり、引き続きこうした教育体制を強化していく。
	専攻科の三級海技士免許取得率、二級海技士免許筆記試験合格率が前年度をやや下回った。来年度の合格率向上に向けた、さらなる努力に期待したい。	平成 2 2 年度においては、補習授業を行うなど海技士教育の充実を図った。その結果、平成 2 2 年度修了生においては、三級海技士免許取得率が 1 6 ポイント (82.4 → 98.2 %)、二級海技士免許筆記試験合格率が 1 1 ポイント (70.7 → 81.5 %) それぞれ向上した。今後も海技士免許の高い合格率を維持できるよう努める。